

※研修のご案内（チラシ）は、2枚目に掲載しています

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、新型コロナウイルス感染予防のため、研修を受講される皆様および講師ならびに職員の安全を第一に考え、下記の対策を講じております。何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■新型コロナウイルス感染防止のための10の対策

- ①受講者定員を縮小し、受講者間の距離を確保します。
- ②受講者・講師・スタッフともに、マスクの着用を必須とします。
（※場合によって、フェイスシールドまたは、透明ビニールカーテンを設置）
- ③会場入口に消毒液を設置いたします。
- ④休憩時等、定期的な換気を行います。
- ⑤手が触れる箇所を中心に、会場内を定期的に消毒します。
- ⑥事務局スタッフの毎日の体調チェック、手指の消毒を徹底します。
- ⑦講師の当日の体調チェックを行います。
- ⑧研修備品等の共有はしません。（マイクで発表する場合は、その都度消毒します。）
- ⑨喫煙室は、使用禁止とさせていただきます。
- ⑩ゴミはお持ち帰りいただきます。

■参加者の皆様へのお願い

身体的距離の確保

- ・会場では他の受講生との距離を空けていただきますようお願いいたします。

マスクの着用

- ・研修参加の際には必ずマスクの着用をお願いします。マスクはご持参ください。

消毒液のご利用

- ・咳エチケットの実施や手洗いやうがい、手指消毒の徹底にご協力をお願いします。
会場入口に、消毒液をご用意しています。

日々の健康チェック

- ・検温など体調管理のご協力をお願いいたします。
- ・発熱、咳などの症状がある場合は、体調を最優先していただき、ご受講をお控えいただきますようお願いいたします。（熱が37.5℃以上の場合は、ご受講いただけません）
- ・研修当日、体温チェックさせていただく場合があります。
- ・研修中に体調が悪くなられた場合、すぐに事務局までお申し出ください。

<座席について>

- ・座席は、1テーブル1～2人とし、受講者同士一定の間隔をとります。
研修によっては、演習を実施します。その場合も、受講者同士の距離を確保したうえでグループ化し、マスクの着用、または、フェイスシールドを使用する場合があります。
- ・演習は、中止、または一部簡略化して実施する場合がありますことを予めご理解ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、研修を中止させていただく場合もございます。中止または延期させて頂く場合は、速やかにご連絡させていただきます。

地域協働でつくる多文化コミュニティ

～生野区における多文化共生のまちづくり拠点“いくのパーク”に学ぶ～

社会福祉法改正に伴い、各現場において地域貢献が進められています。外国籍の利用者・職員が当たり前になっていく時代において、多文化共生という観点も必要となっています。本研修では御幸森小学校の跡地に誕生した“いくのパーク”を会場に、生野における多文化のまちづくりから、地域協働を学びます。

「なぜ多文化×福祉のまちづくりなのか」大阪人間科学大学 准教授 石川 久仁子 氏

地域社会が多文化化していますが、外国籍住民が暮らしやすい、外国ルーツの子どもたちが育ちやすい状況といえるでしょうか。大阪は在日コリアンが数多く暮らしてきたまちであり、共に生きるための実践も蓄えられてきました。排外主義が高まるなかで違いをパワーにかえる多文化のまちづくりの可能性について皆さんと一緒に考えます。

「いくのパークの挑戦」NPO法人IKUNO・多文化ふらっと 理事・事務局長 宋 悟 氏

大阪有数の集客力を誇る商店街である大阪コリアタウン。そこに隣接する小学校跡地を活用し、多文化共生拠点「いくのコーライズパーク」(略称:いくのパーク)が、今年4月からスタートしました。正式オープンを控えて、地域共生社会の視点から「いくのパーク」の挑戦と可能性についてお伝えします。

「保育園が多文化共生に果たした役割」大阪聖和保育園事務局長 森本 宮仁子 氏

大阪聖和保育園では「民族保育」を実践してきました。「民族保育」は在日韓国・朝鮮人と日本人の子どもたちが共に生きていくための願いを込めた保育です。その実践は、差別の実態や課題をわたしたちに突きつけると同時に、たくさんの出会いと喜びも与えてくれました。その実践を報告します。

IKUNO・ふらっと
ホームページ ↓

「外国につながる子どもの支援」学習支援事業担当 藤井 和代 氏

私たちが実施している学習サポート教室には8か国にルーツのある子どもたちが学びに来ています。活動を通して見えてきた外国につながる子どもの現状や抱える課題について、また外国人やその子どもたちとコミュニケーションをとるコツについてお話しします。



「社会福祉法人が多文化共生に果たす役割・意見交換・まとめ」 石川 久仁子 氏

日程 令和4年12月14日(水) 14:00～17:00

会場 いくのコーライズパーク(いくのパーク) 多目的室

※〒544-0034 大阪市生野区桃谷5丁目5-37(旧御幸森小学校跡地)
JR・近鉄・大阪メトロ鶴橋駅またはJR桃谷駅より徒歩15分

現地
集合

対象 福祉施設(社会福祉法人等)、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市町村担当者、福祉事務所等職員(施設種別問わず)、テーマに関心がある方等

受講料 3,000円 定員 50名(先着順)

締切 11月25日(金) ※受講決定された方には締め切り後1週間以内に受講決定メールを送信します。
※受講料の振込先、期日等は受講決定メールをご参照ください。

主催 【福祉と人権の研修ネットワークおおさか】
(構成団体)社会福祉法人大阪府社会福祉協議会大阪福祉人材支援センター、一般財団法人大阪府地域福祉推進財団
※上記2団体で構成する「福祉と人権の研修ネットワークおおさか」が大阪府の研修委託事業者として実施いたします。

★お申し込み・お問い合わせ

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター研修グループ
【担当:金・小林】 TEL.06-6762-9035

URL:<http://www.osakafusyakyo.or.jp/kensyu-c/>

研修申込は
こちら

